

## 森林土木セミナー 治山技術の歴史を学ぶ —オーストリアからの近代技術の導入—

治山事業は、その前身である森林治水事業が明治44年に開始されてから100年を超える歴史を持っており、これまで全国の山地・海岸に多くの施工地や施設がつくられて、国土保全に大きな役割を果たしています。これらを支えた治山技術は、江戸時代、明治時代のはげ山復旧の技術を底流とし、明治時代末期から大正時代にかけて、来日したホフマンや留学した諸戸北郎・赤木正雄らにより、オーストリアからの近代的な技術が導入されて、大きな発展を遂げました。

森林部門技術士会では、治山施工地・施設に対する文化的・歴史的価値を評価して、治山技術史の調査研究をすすめるために、昨年度より、「治山技術の歴史を学ぶ」をテーマとして、森林土木セミナーを開催しています。

今回は、第2回として、治山技術の発展に大きな影響を与えたオーストリアからの近代的な技術の導入を取り上げることとし、日本とオーストリアの技術と歴史について造詣の深い研究者をお招きして講演会を開催します

森林部門技術士会（担当：森林土木部会）

主 催：森林部門技術士会・公益社団法人日本技術士会森林部会

期 日：平成27年6月24日（金）14:30～17:00

場 所：日林協会館3階大会議室（東京都千代田区六番町7）

プログラム：

1. 開会 14:30

2. 講演 14:35～16:35

「オーストリアの治山技術の歴史～その変遷と日本への影響～」

新潟大学名誉教授 丸井 英明（まるい ひであき）

3. 質疑応答・討議 16:35～17:05

4. 閉会 17:05

5. CPDについて 森林分野（JAFEE）2.5CPD、日本技術士会 2.5CPDです。

6. 参加申し込み：参加申し込みは事務局阿黒までメールでお願いします。

事務局メールアドレス [shin-gi@forest-pro.jp](mailto:shin-gi@forest-pro.jp)

### 講師略歴

丸井 英明（まるい ひであき）

1949年兵庫県生まれ

1975年信州大学大学院農学研究科修士課程修了

1983年オーストリア・ウィーン農科大学客員研究員

1989年新潟大学助手、1990年助教授、1997年教授

2011年新潟大学災害・復興科学研究所 所長（教授）

2014年同特任教授、現在に至る

新潟大学名誉教授

国際防災学会 INTERPRAEVENT 副会長

元社団法人日本地すべり学会会長

専門：砂防学、自然災害科学

学位：農学博士（京都大学、1981年）

自然工学博士（ウィーン農科大学、1989年）